

第1回佐貫地区保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年1月26日（木）19:00開始

2. 会場 佐貫コミュニティセンター

3. 教育部参加者

岡根教育長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、
須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、財前教育センター指導主事、
大畑教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐

4. 保護者参加者 26名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
能城部長	1 開会の言葉 2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
須藤主幹	4 「富津市小・中学校再配置計画（案）」についての説明 事前に佐貫小学校、佐貫中学校PTA役員の皆様に説明をさせていただきましたが、次のような質問がございました。 Q：今回の計画に佐貫小学校はないがどうなのか。 A：佐貫小は平成34年以降の推移が現段階ではわからないので、それ以降の児童数を見て検討していく。 Q：スクールバスについていくつか質問がありました。 A：スクールバスについては、笹毛、宝竜寺方面の2コースを考えています。バスの運行時間や停車する場所については、学校の授業や部活動の終了時間を考慮したり、生徒の居住実態に合わせ、今後保護者の皆様と協議していきたいと考えます。また、土・日や夏休み等については、部活動がありますので運行していく予定です。 Q：平成32年から突然一緒になるのか。 A：統合する前から、お互いの学校を行き来するなどして、交流学习や部活動の交流などを計画的に行い、人間関係づくりを深め、不安を解消していきたいと思います。また、平成32年の中学校3年生につきましては、受験がありますので、1、2年生の時からお互いの学校間で成績のすりあわせを行い、スムーズに3年生を迎えられるように学校に依頼をしていきます。 Q：再配置のための検討組織について A：再配置のための検討組織については、小学校の保護者代表の方を含め

	<p>組織していきます。また、検討委員会の年間予定ですが、できるだけ早い段階で、出していきたいと思います。</p> <p>Q：制服やジャージは統合したときに代えるのか。</p> <p>A：保護者の方の負担にならないよう早めに提示していきたいと思います。</p> <p>Q：部活動はどうなるのか。</p> <p>A：部活動については、4月以降、両中学校で協議していただき、個別の再配置計画で示していきたいと思います。</p> <p>Q：佐貫中学校の跡地利用について。</p> <p>A：跡地利用については、市役所全体で十分検討するとともに、地域の皆様に説明しながら、決定していきたいと思います。また、草刈り等については、定期的に整備を行っていきます。</p> <p>Q：平成32年に統合するのなら、最初から大貫中に行きたいといった場合認めるのか。</p> <p>A：現在も家庭の事情や部活動などで学区外通学をしているお子さんもいます。今後も、そのような場合には考慮していきたいと思いますので、ご相談ください。</p> <p>Q：統合した後の学区は、大貫中学区になるのか。</p> <p>A：大貫中学区で考えています。保護者や本人の都合等で天羽中へ通学することも可能ですが、従来の学区外通学と同様となります。</p> <p>そのほかに、人数が少ないので統合した方がよい、クラス替えをさせたいなどの意見もありました。</p> <p>以上で、説明を終わらせていただきます。</p> <p>5. 質疑</p>
保護者	<p>この計画は決定か。人口が減ると説明しているが、減ることがわかっているのに、今まで何をやってきたのか。ビジョンが短いのでは。</p>
岡根教育長	<p>この計画は7、8年前に出されていて、徐々に進めてきており、行う方向で考えている。また、富津バスストップを作ることや産業誘致を推進している。</p> <p>また、天羽中が少なくなるだろうということだが、富津市は南部に広い地区である。現状では、中学校は3校で行きたいと思う。</p>
保護者	<p>人口減少への対策は今までやってきているが、止められていないのでは。</p>
岡根教育長	<p>減少を抑えていこうという働きをしている。市は、減少を少しずつ食い止めていくことをしている。</p>
保護者	<p>南部が減っていくということがどういうことかわかっているのか。富津は色々高いから若い人が出て行ってしまう。</p>
保護者	<p>君津、木更津の方が交通の便がよい、生活しやすいからでは。若い人が逃げてしまう。子どもたちも先が見えない。どう考えているか。</p>

岡根教育長	人口ビジョンと方策を聞いてくる。次回、回答したい。
保護者	木更津に住所があるが、仕事の関係で佐貫に来ている。居住区の学校が合わない、小規模の学校ならいけるという場所を作って、アピールをしていけば増えるのでは。
今井課長	小規模特認校の情報は知っている。市内小中学校でコミュニケーションがとれない子どもに勧めているが、子どもの数の減少は解消されていない。市をまたいでの通学は、市の税金の中で育てていくことが中心である。富津市の子どもたちをどうしていくのかを考えていきたい。
保護者	少人数では、よい学びができないのか。
今井課長	課題別に集団で調べる活動や、3人で話し合うより10人で話し合うと多様な考えが出てくる。そういうことを経験させたい。自分たちで考え、大きな集団でやることも必要であり、色々な学び方、環境を作っていきたい。
保護者	少人数では、切磋琢磨できないのか。
今井課長	多人数の方がより切磋琢磨できる。
保護者	他県では、統合することによって今までできていたが、中の下になってやる気がなくなり、成績が下がってしまったという例がある。
今井課長	現在、学習意欲をあげていく研究をしている。当時はその部分が欠けていたことが考えられる。統合することでそうならないようにしていく。
保護者	部活動は増えるかもしれないが、現在クラブチームで活動している子どももいるが。
今井課長	クラブチームの中で、切磋琢磨していくことはよいと思う。そういう場所で活躍してほしい。学校の中で、こういう部活をしたいというお子さんには、選ぶことも大切であり、選択できる環境づくりをしていきたい。
保護者	大きい学校は顔を知らない、まとまりがないと聞くが。
今井課長	ある程度の規模がある方が、生きる力がつくと考えている。
保護者	スクールバスはどこを走るのか。また、現在、佐貫の学童に入っているが、小学生は大貫の学童がいっぱいと聞くが入れられるのか。
今井課長	大坪、笹毛方面、郵便局から宝竜寺、亀沢方面の2系統を考えている。小学校は統合を計画していないので、そのまま利用ができる。

保護者	小5の子どもがいる。3年生で統合し新しい環境になるが、気をつけなければいけない点があれば聞きたい。
今井課長	名前も知らないで統合するのは不安である。統合前から交流の場面を作っていき、お互いの情報を持っていることが安心につながる。
保護者	バスのシミュレーションは行うのか。
今井課長	実際に乗ってという希望があれば行う。
保護者	スクールバスの時間は、朝練の「有り・無し」に対応するのか。
須藤主幹	対応していく。朝2便、帰り2便や午前中で終わるときなど、柔軟に対応していく。
保護者	災害の時は、親が学校に迎えに行っている。遠くなり迎えに行かれないときはどうするのか。
今井課長	3.11の時を想定して心配しているかと思う。子どもたちの避難場所は学校になっており安心できる場所である。学校で安全・安心を確保していく。
保護者	耐震化はどうなっているのか。
鶴岡課長	市内学校の耐震化はすべて終了している。
保護者	中3の女の子が統合したときに制服が違うのは、嫌だといっている。お金もない。入学時に同じものにしてもらいたい。
今井課長	保護者の方の負担にならないよう、早めに提示していく。
保護者	在校生は関係ないかもしれないが、生徒を入れての検討も考えてほしい。
保護者	佐貫小から大貫小に転校した子どもは、保育園から知っている子がいたので、スムーズに打ち解けられた。保・幼から交流できる環境があれば打ち解けやすい関係になる。
今井課長	5年生から下の学年においても、統合前から交流学习を行うなど、関係する小学校で協力してもらい、できる限り取り組んでいく。
保護者	今の5年生が中3で統合するので一番心配である。受験の時の担任の差別化をなくしてほしい。また統合することで総体に出られないということがないようにしてほしい。不登校への対応もお願いしたい。
今井課長	学校、先生が替わる不安は理解できる。佐貫中の教員も大貫中に異動することになる。様々な面で配慮していく。

保護者	統合には、賛成である。しかし、人数が増えると一人一人への対応も難しくなる。内気な子どももいる。交流すると行き来に時間がかかり学習時間が少なくなる。佐貫中の子どもが全員安心して通えるように、次回提示してほしい。
保護者	部活動はどうなるのか。統合して、今の部活動がなくならないようにしてほしい。
今井課長	両中学校で協議をしていただき、検討していく。
保護者	佐貫の剣道は今後人数が増える。それでもなくなるのか。大貫中に武道場は作るのか。
今井課長	武道場の建設は考えていない。佐貫中の武道場の活用も含めて考えていく。
保護者	顧問がいなかったため部活ができないということはあるのか。
今井課長	大貫中は学級が4クラスの時の部活動の数がある。クラスが減少し、部活を少なくしていくことも考えている。今後検討していく。
保護者	天羽中を建て直すのではなく、4つの中学校を統合することはないのか。
今井課長	天羽中は雨漏りがひどく、建て替えなければならない。距離的なことを考えると、大貫の方が近いかと思う。別の中学校に通うのではなく、大貫で考えている。
保護者	市内の卒業式は日程が変わった。市民ファーストではない。何の説明もなく決まった。子ども主体で親は考えている。来賓は関係ない。市役所も変更できる考えがあったようだが、どうだったのか。
岡根教育長	その通りである。教育委員会が事前に参加できないという情報を事前に得ていたらと思う。
保護者	地域で子どもたちを見ている。統合したら親の目が届かなくなり、人数が多くなればいじめも増える。親同士の交流も深められない。佐貫は親と子どもの交流がある。新しくなると心配である。
今井課長	地域が子どもを育てている佐貫地区であることは理解している。統合した際に、そういう風土を新しい学校に取り入れてほしい。
保護者	小5の子どもが、入学時に佐貫中に入学しない場合はどうするのか。また、残された在校生はどう扱われるのか。その対応はどうするのか。
今井課長	残った生徒でやれることをやっていく予定である。

保護者	中3で9人のみになると、取り残されるということになるのか。
今井課長	保護者と考えていかなければならない。他市でも残った人数でやりきっていた。
保護者	小4の子どもが合わせて全員で大貫中へ行くことも可能なのか。
今井課長	可能であるが、理由をしっかりと見ていく。
保護者	校長先生に聞いたら、統廃合はないと聞いたが。
岡根教育長	キャンペーンが足りなかった。関豊小からこの計画はスタートしていた。
保護者	突然のことで驚いた。多ければ理想と言っているが、少ない学校はかわいそうだったのかと思ってしまった。バスのこと、学校名のこと、制服などの意見をもっと聞いて、うまく統合してほしい。
今井課長	説明だけで終わることはない。皆さんともっと話し合っていかなければいけないこともわかっている。これから3年間のスケジュールも含めて、示していきたい。
	6. 閉会の言葉